



病院NEWS

no.
388
2016
10/01

The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保



手術体験セミナーを開催しました!

手術部 副部長 古泉 真理

台風3連続襲来の合間となった8月27日に、香川大学医学部附属病院で手術体験セミナーを開催しました。9回目となる今年は、県内の高校6校から36名に参加して頂きました。このセミナーは、実際の手術で使われている手技を疑似体験し、医師という職業に興味をより持つてもらうために行われています。まずはじめに、心臓血管外科堀井教授に挨拶のお言葉を頂きました。その後、各グループに分かれて、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、形成外科、泌尿器副腎腎移植外科、脳神経外科、麻酔ペインクリニック科の先生がたにご指導頂き、シミュレーターなどを用いた手術模擬体験ブースを7つと、完成したばかりの新手術棟の見学をしてもらいました。いずれのブースでも、高校生たちは熱心に説明を聞き、楽しみながらも緊張感を持って、事に当たっていました。また、医学部生3名からは、実際の医学部ライフについて熱く語ってもらいました。

体験終了後には、緊張感から解放されて、笑顔で談笑している姿が印象的でした。いつか、彼ら彼女らとともに働く日が来ることを心待ちにしております。

最後に、多大なるご協力を頂きました、各先生方、医学部学生、事務スタッフの方々に心より御礼申し上げます。



第十五回卒後臨床研修指導医養成講習会の開催報告

卒後臨床研修センター長 松原 修司

去る8月20日(土)・21日(日)の2日間、第十五回卒後臨床研修指導医養成講習会を開催しました。齋藤 宣彦先生(医療系大学間共用試験実施評価機構 副理事長・聖マリアンナ医科大学名誉教授)を中心に講習内容を企画いただき、世話人の先生方(9名)のご指導のもと、本院21名・協力型臨床研修病院13名の計34名の研修医指導担当医の皆様が受講され、厚生労働省医政局長認定の修了証書を授与いたしました。特別講演では、田中 信一郎先生(中国四国厚生局健康福祉部医事課臨床研修審査専門官)、清元 秀泰先生(国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED) バイオバンク事業部 基盤研究科 調査役)にご講演を賜り、本院卒後臨床研修を見つめ直し、今後の医師育成を改めて熟考する貴重な機会となりました。今回も、滞りなく終了できましたのは、関係各位の皆様のご協力のお陰と感謝しております。



最新のがん統計(2014年)で、肝臓がんは男性のがん死亡原因の第4位、男女計では第5位となっています。肝臓のがんは「原発性肝がん」と別の臓器から転移した「転移性肝がん」に大別されます。「原発性肝がん」の多くは肝細胞由来の「肝細胞がん」で、大部分がC型・B型肝炎などのウイルスが原因でした。しかし近年は肝炎ウイルス治療の進歩により、糖尿病、肥満による脂肪肝、アルコール性などのウイルスの関与しない発がん原因が増加してきています。

治療は外科切除・ラジオ波焼灼療法・肝動脈化学塞栓療法の三つが大きな柱となっています。これらの治療のいずれを選択すべきかについては、肝臓の予備能と腫瘍進行度や部位により決まってきます。外科治療は比較的機能の良い肝臓にできた少数個のがんをきっちりと切除して治すという役割が与えられています。最近(2011-2013年)の肝切除における手術関連死亡率は3.7%であり、技術の進歩や周術期管理の向上によって減少してきています。

2010年からは、腹腔鏡を用いた肝部分切除と外側区域切除が保険適応となり、体に負担の少ない治療として受け入れられてきていました。しかしながら、一部でその安全性が問われるような残念な事例が起こったのも事実です。その後、外科学会が行った全国調査では、決して安全性が劣る手術ではないことが確認されました。

そのことも踏まえ、2016年度より腹腔鏡下肝切除術の適応は亜区域切除術、1区域切除術、2区域および3区域切除術に広がり、施設基準と適応も厳格に定められました。

この新たな施設基準では、関連学会と連携の上、手術適応等の治療方針の決定及び術後の管理等を行っていることという条件が記され、全ての症例を全国登録するようにしています。当院でもこの基準を取得して日本肝胆膵外科学会が認定した高度技能専門医や指導医が中心となり治療を行っています。

毎日新聞「四国健康ナビ」H28.8.2掲載

第9回香川県がん診療連携協議会を開催

医療支援室

平成28年8月9日に「第9回香川県がん診療連携協議会」が香川県社会福祉総合センターにおいて開催されました。この協議会は、都道府県がん診療連携拠点病院である本院を中心に、県内の地域がん診療連携拠点病院（香川県立中央病院、高松赤十字病院、香川労災病院、三豊総合病院）、香川県及び香川県医師会、四国こどもとおとなの医療センターが香川県におけるがん診療連携の強化及びがん医療の均てん化の推進を目的とし、毎年開催しています。

横見瀬病院長が議長・進行を務め、今回の協議会では、ハローワーク高松と香川産業保健総合支援センターから、がん患者の就労等に関する総合支援事業について説明がありました。また、各部会（地域連携・パス、院内がん登録、相談支援、緩和医療、研修・教育、情報・広報）から平成27年度の事業実施報告がありました。香川県からは第2次香川県がん対策推進計画中間評価等について報告がありました。

今後は拠点病院のみならず、地域の病院・診療所とも連携を強化していく必要があることを確認し、閉会しました。



平成28年度関係医療機関懇談会を開催

総務課 企画調査係

8月25日(木)市内ホテルにおいて、平成28年度関係医療機関懇談会が開催されました。この懇談会は、関係医療機関のニーズに応え、地域との診療連携をよりスムーズに行うことおよび大学病院の現状等を報告することなどを目的としたものであり、関係医療機関から病院長等66名、本院から35名、総勢101名の参加がありました。

冒頭に横見瀬病院長から挨拶および大学病院の現状と将来構想などについて説明がありました。続いて、新たに教授に就任した本学教員より説明が行われました。

次に、坂出市立病院 岡田院長及び小豆島中央病院 佐藤院長より関係医療機関における医療等の取り組みの紹介が行われました。

また、引き続き開催された懇親会では意見・情報交換など積極的に行われ、盛会のうちに終えることができました。



現在日本には約130万人のC型肝炎ウイルス感染者がいて推定されています。感染者は高率にC型慢性肝炎になりますが自覚症状がほとんどないため感染に気づかず医療機関を受診していない方が多く存在します。しかしC型慢性肝炎を放置すると、肝硬変、肝がんへと進展するリスクが高くなります(図1)。C型肝炎ウイルス(HCV)に感染しているかどうかは簡単な血液検査で調べることができます。健康診断で肝機能異常を指摘された事のある方は必ずこの検査を受けていただきたいと思います。

さてC型肝炎の治療は従来インターフェロン(IFN)という私たちの体が持つ免疫機能を高めてウイルスを排除する作用のお薬が中心でした。しかしIFNは副作用が多く治療不適格であ

ったり副作用のため長い治療期間(1年以上)の途中で治療を中断せざるを得ない方が多く存在しました。また体質によりIFNが全く効かないタイプの人がある割合で存在するなどの問題もあり、治療効果に限界がありました。この状況を一変させたのがウイルスが持つ蛋白質に直接作用するタイプの内服薬であるDAA製剤(Direct Acting Antivirals)の登場です。この薬はHCVが自己を複製して生存するために必要な蛋白質を直接的に阻害してウイルスに決定的なダメージを与えるお薬です(図2)。DAA製剤には現在、プロテアーゼ阻害剤、ポリメラーゼ阻害剤、NS5A阻害剤の3系統のお薬が存在しています。当初DAA製剤はIFNと併用で治療が行われていましたが、IFN使用による副作用やIFN抵抗症例の問題などから現在ではIFNを使用せず2種類以上のDAA製剤のみの組み合わせで行う治療が主流となっておりその治療期間も3~6ヶ月と非常に短縮されています。HCVにはその遺伝子の違いからいくつかのゲノタイプに分かれていますが日本ではほとんどがゲノタイプ1か2のいずれかです。現在のDAA内服治療はどちらのゲノタイプにもそれぞれ対応した治療メニューが存在しています。DAA製剤はIFN治療に比べて副作用が非常に少なく、患者様の年齢、体質、性別などの条件を問わずよく効き、また肝硬変の患者様でも元気な方なら慢性肝炎の方と同等の成績で治療できます。このように数種類の薬を短期間内服するだけの治療によりC型肝炎は90%以上が治る時代になっています。ただHCVの中には特定のDAAに抵抗性を示す変異株が存在したり、DAAと他のいくつかの内服薬との飲み合わせの相性が悪かったりと注意する点があります。DAA製剤は非常に高価なお薬ですが公的助成制度により月々1~2万円で治療を受けることができます。治療を受けた方のほとんどがウイルス

慢性肝炎の進行と肝発がん

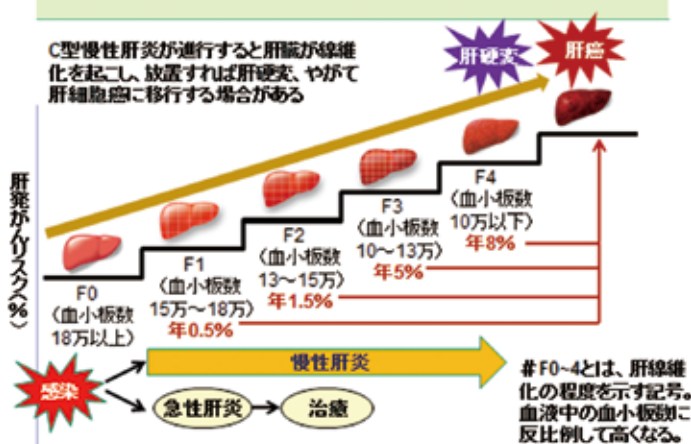


図1

HCV直接阻害剤による抗ウイルス治療

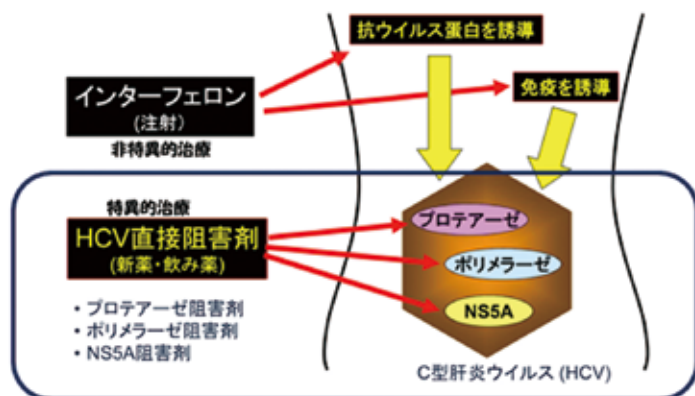


図2

排除に成功し肝炎が沈静化しますが、高齢(特に65歳以上)で治療を受けられた方は肝炎が治癒してもその後で肝がんが発生する場合があります。そのため、治療終了後も医療機関で定期的に腹部超音波検査や肝腫瘍マーカー検査を受け、肝がんの早期発見に努めることが重要です。

抗ウイルス治療の進歩により、C型肝炎、肝硬変、肝がんを苦しむ人を全員救うことが肝臓専門医の悲願でしたがこれが現実となる日はそう遠くないと考えられます。

※第3回イキイキさぬき健康塾(平成27年4月26日開催)の講演内容を要約したものです。

長期療養者への就職支援について

医療支援室



がん診療連携拠点病院機能強化事業において、平成28年度よりハローワークと連携して長期療養者等の就職支援のため、7月から院内にハローワーク高松の出張相談窓口を開設しました。出張相談窓口はがん相談支援センターにあります。相談日時は毎月第1木曜日、第3火曜日の10時～15時に実施しています。窓口ではハローワーク高松から専門の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」が就労に関する悩み・不安などの相談に応じます。

なお、相談は事前予約制となっていますので、ご希望の場合は以下の連絡先にお申し込み下さい。

【相談予約連絡先】ハローワーク高松 職業相談部門 長期療養者職業相談窓口
TEL: 087-806-0045
受付時間: 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
(祝日及び年末年始を除く)

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長

医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思しますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H28.10～11月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
10/6 10/20	木 14:00～15:30	東1階 デイルーム	糖尿病教室	臨床栄養部	(087)891-2066
10/19	水 14:00～15:30	病院2階 カンファレンスルーム	腎臓病教室	臨床栄養部	(087)891-2066
10/23	日 11:00～12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新治療- 「脳腫瘍治療への挑戦～術中MRI 四国初上陸～」	総務課	(087)891-2008
10/27	木 17:30～19:30	リーガホテルゼスト高松 3F 「ダイヤモンド西」	日本皮膚科学会 第59回香川地方会	皮膚科	(087)891-2162
11/5 11/6	土 14:30～17:30 日 9:00～17:00	香川県社会福祉総合センター	公益社団法人 日本口腔インプラント学会 第36回中国・四国支部学術大会	歯科口腔外科学講座	(087)891-2227
11/16	水 14:00～15:30	臨床栄養部 研修室	腎臓病教室	臨床栄養部	(087)891-2066
11/17 11/24	木 14:00～15:30	臨床栄養部 研修室	糖尿病教室	臨床栄養部	(087)891-2066
11/17	木 14:00～16:00	病院2階 カンファレンスルーム	がん患者サロン	がん相談支援センター	(087)891-2473
11/20	日 11:00～12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新治療- 「内臓症について 月経痛から閉経後まで」	総務課	(087)891-2008
11/24	木 14:00～15:30	病院2階 カンファレンスルーム	平成28年度 第3回 肝臓病教室	地域連携室	(087)891-2468

看護職員募集

中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、石井(外来)、小野(総務)、
笹川(放射線)、白神(麻酔)、田川(管理)、
田中(看護)、中妻(看護)、芳地(薬剤)、
村上(病棟)、横井(情報)、横山(経営)、
吉野(医事)

〔委員長 横見瀬病院長〕